

## 近代の文化遺産の保存修復に関する調査研究(ホ06)

**目 的** 近代の文化遺産は、絵画、彫刻、木造建造物等従来の文化財とは、規模、材質、製造方法等に大きな違いがあるため、その保存修復方法や材料にも大きな違いがある。本研究では、近代の文化遺産の保存修復を行う上で必要とされる材料と技術について調査研究を行う。具体的には、大型建造物の劣化機構の解明とその修復方法の究明、航空機、船舶、鉄道車両等の保存修復上の問題点とその解決方法の究明を目指している。

**成 果**

1. コンクリート造建造物の保存と修復に関する研究  
歴史的コンクリート造建造物の保存と修復に関する現状の課題を踏まえ、国内外に所在する約40件(世界平和記念聖堂、サルギナトーベル橋(スイス)等)の現地調査を行い、実態把握と事例収集等を行った。令和元年度に報告書の刊行を予定している。
2. 近代文化遺産の活用に関する研究  
全国近代化遺産活用連絡協議会協力者会議委員等として、近代文化遺産の活用に関する包括的な検討を行った。また台湾における近代化遺産活用の事例を実査し、その概要を冊子にまとめると共に、台湾の政府機関・大学と協力して、近代文化遺産に関するシンポジウムを東京、大阪、台北で計3回行った。
3. 国際基督教大学所蔵ジェットエンジン部品に関するシンポジウム  
平成29年度に調査報告書を刊行した、国際基督教大学所蔵ジェットエンジンをテーマとするシンポジウムを6月に開催した。
4. 報告書の刊行  
平成29年度に実施した鉄建造物の保存と修復に関する研究内容を報告書にとりまとめた。また、同年に刊行した和文報告書「煉瓦造建造物の保存と修復」の英語版を刊行した。

**報 告**・石田真弥：「旧安田銀行担保倉庫の保存・活用に関する取り組み：煉瓦建造物の保存活用に関する研究－16」『第89回 日本建築学会関東支部研究報告集Ⅱ』 pp.73-112 19.3

・石田真弥、関崇夫：「煉瓦寸法の変遷と組積技術の関連性に関する研究：群馬県内の煉瓦造建造物を対象として」『前橋工科大学研究紀要』22号 pp.13-22 19.3

**発 表**・北河大次郎：「“ここ”の歴史へー幻のジェットエンジン、語るー」 国際基督教大学アジア文化研究所・平和研究所／東京文化財研究所 18.6

・北河大次郎：「砂防施設と文化財について」 国土交通省北陸地方整備局 18.6

・北河大次郎：「日本における近代化遺産に関する文化財保護行政の展開について」 台湾文化部文化資産局 18.8

・北河大次郎：「わが国防災遺産の系譜と立山砂防」 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会 18.9

・北河大次郎：「20世紀遺産と立山砂防」 土木学会 18.10

・北河大次郎：「台湾における近代化遺産活用の最前線、趣旨説明および討議」 東京文化財研究所 19.3

**刊行物**・『鉄建造物の保存と修復』 東京文化財研究所 18.8

・『Conservation and Restoration of Brick Masonry Structures』 東京文化財研究所 19.3

**研究組織** ○北河大次郎、石田真弥、鳥海秀実(以上、保存科学研究センター)、中山俊介(文化遺産国際協力センター)、簡佑丞、荻田重賀、小堀信幸、堤一郎(以上、客員研究員)